

# COP26と 気候変動外交



## 外交

Vol. 70  
Nov./Dec. 2021

今月の表紙

英グラスゴーでのCOP26。温暖化抑制目標は直接エネルギー・産業構造の転換につながる（AP／アフロ）

7	カーボンニュートラルの実現に向けて	山田高敬（名古屋大学）
14	グラスゴーで何が決まったか	亀山康子（国立環境研究所）
20	中国・気候変動対策の深慮遠謀	染野憲治（早稲田大学）
26	巨大新興国インド 脱石炭への高いハードル	福味敦（兵庫県立大学）
30	サウジ皇太子COP26欠席の背景	近藤重人（日本エネルギー経済研究所）
32	欧州ガス価格高騰の構図	白川裕（石油天然ガス・金属鉱物資源機構）

### FOCUS 習近平体制 3期目への布石

42	対談 高原明生（東京大学）×川島真（東京大学）	中国「歴史決議」の射程 —— 人事・経済・台湾
60	恒大集団経営危機はブラック・スワンになるか	齋藤尚登（天和総研）
66	民主化の基盤を破壊した香港「愛国者統治」	倉田明子（東京外国語大学）
66	中国・台湾のCPTPP加入申請と日本の対応	川瀬剛志（上智大学）

74	「法人税最低税率一五%」のインパクト	吉村政穂（一橋大学）
96	タリバンは自己改革による統治ができるか	田中浩一郎（慶應義塾大学）
102	中国の対アフガニスタン連携とその実像	廣野美和（立命館大学）
108	なぜ豪州はAUKUSを選んだか	永野隆行（獨協大学）
114	メルケル外交の二六年 ドイツに安定と繁栄をもたらしたプラグマティズム	中村登志哉（名古屋大学）

120	内戦拡大の危機迫るエチオピア	真城百華（上智大学）	
124	岐路に立つスーダンの民主化プロセス	坂根宏治（国際協力機構）	
130	追悼 デクラーク元南アフリカ大統領	アパルトヘイト廃止の英断とその先の課題	白戸圭一（立命館大学）
136	追悼 ハウエル元米国務長官	超大国の責任と倫理を背負った誇り高き愛国者	加藤良三（元駐米大使）

連載	アラウンド・ザ・ワールド	72	数字が語る世界経済	伊藤信悟（国際経済研究所）
85	米国の駐中国・駐日大使	秋元諭宏（笹川平和財団米国）	外交極秘解除文書	若月秀和（北海学園大学）
88	ASEANとミャンマー	梅崎創（アジア経済研究所）	ブックレビュー	大庭三枝（神奈川大学）
90	ウズベキスタン大統領選	岡田晃枝（東京大学）	いまを読む5冊	池部亮（専修大学）
92	イラク国民議会選挙	吉岡明子（日本エネルギー経済研究所）	英文目次	長谷川晋（関西外国語大学）
94	欧州揺さぶるベラルーシ	服部倫卓（ロンドン・S経済研究所）	IN&OUT	
150				
153				